

百人一首 (歌番号:26 ~ 30)

<p>ありあけ 有明の つれなく見えし 別れより あかつき 暁ばかり 憂きものはなし</p> <p>みぶのただみね 壬生忠岑</p> 	<p>こころ 心あてに おらばや折らむ はつしも 初霜の おきまどはせる しらぎく 白菊の花</p> <p>おおしこうちのみつね 凡河内躬恒</p> 	<p>やまぎと 山里は ふゆ 冬ぞさびしき まさりける ひとめ 人目も草も おも かれぬと思へば</p> <p>みなもとのむねゆきあそん 源宗于朝臣</p> 	<p>みかの原 わきて流るる いづみ川 いつみきとてか 恋しがるらむ</p> <p>ちゅうなごんかねすけ 中納言兼輔</p> 	<p>おくらやま 小倉山 みね 峰のもみぢ葉 こころ 心あらば いま 今ひとたびの みゆき待たなむ</p> <p>ていしんこう 貞信公</p> 
<p>あかつきば かりうきも の はなし</p>	<p>おきまどわ せるしらぎ く のはなし</p>	<p>ひとめもく さもかれぬ とおもえ ば</p>	<p>いつみきと てかこいし かるらん</p>	<p>いまひとた びのみゆき またなん</p>